

平成 29 年度学長戦略経費（重点分野研究プロジェクト）進捗状況報告

（平成 30 年 3 月）

報告者氏名・所属	橋本忠和（函館校地域教育専攻 教職大学院授業開発分野 附属函館幼稚園園長）	
研究プロジェクトの 名称	創造的な学習ツールとしてタブレットパソコンを活用した幼小中 を貫くアクティブラーニングのカリキュラム及び題材開発の研究 －教員・学生のICTを活かす教職機能強化を図りながら－	
プロジェクト担当者 （氏名・所属・職） ※代表者に●を付すこと	●橋本忠和（附属幼稚園長）・山口好和（地域教育） ・北村博幸（附属小校長）・冬野恒史（附属小教諭） ・金光秀雄（附属中校長）・郡司直孝（附属中教諭） ・小林恵理子（附属幼教諭）・熊谷光洋（附属幼非常勤）	
研究プロジェクトの概要等		
創造的な学習ツール（情報共有・映像情報処理・ムービー・遠隔操作・テレビ会議等）としてタブレットパソコンを活用した、幼児の表現遊び、児童・生徒の教科学習及び社会に開かれた問題解決・社会貢献等のアクティブラーニングに関して幼小中の発達段階に則して系統的なカリキュラム及び題材開発を行う。そして、幼小中・大学と附属の教員・学生がチームとなり共同で研究プロジェクトを推進することにより、相互の結びつきを強固なものにすると共に、教員・学生のICTを活かす教職機能強化を図る。		
進捗度	1	←番号を記入 1.順調に進んでいる 2.ほぼ順調に進んでいる 3.やや遅れ気味 4.遅れ気味
（進捗度が3若しくは4の場合、問題点等の理由を記入願います。）		
研究実績の概要		
平成 29 年 6 月 15 日に附属中学校会議室において本プロジェクト関係者が集まり、平成 29 年度の全体の活動計画と各校の関連活動計画及び各校予算配分について打ち合わせ会をおこなった。そこでは、タブレット活用のための環境整備と共に、本研究に関する先行事例の研究と視察。その情報を元にしたタブレットパソコン等の創造的な学習ツールとして活用した幼小中を貫く情報活用能力育成のためのカリキュラム表を中学校と小学校で作成するとともに、実践事例の開発・実践・検証することを確認した。		
平成 29 年 9 月 22 日に附属函館中学校 3 階多目的教室にて、第 2 回プロジェクト推進会議及び研修会本プロジェクト関係者、各校情報教育担当に加え附属特別支援学校校長の参加をえて、第 2 回プロジェクト推進会議及び研修会をおこなった。そこでの研修は、ICT 利活用教育コンサルティングファームクレバーキッズ代表、熊谷光洋氏を講師に招き、演題「小学校段階からのプログラミング教育～Don't think. Feel. It's fun.～」として、北海道道南地区の ITC 教育の現状と、タブレットパソコンを活用した幼児から生徒まで活用可能なアプリや発達段階に応じて操作可能なロボット等を使ったプログラミング教育の実際について機器を使った演習形式で学んだ。その後、各校の取り組みの情報交流と山口・橋本より今年度の本プロジェクト関連する科研費申請への取り組みについての説明と協力依頼があった。		
平成 30 年 2 月 16 日に附属函館小学校を会場に授業力向上セミナーにおいてタブレットパソコンを英語コミュニケーションの振り返り場面で有効活用した小学校英語科の授業「外国の人をお助け隊」（安彦有里恵教諭）と、クラウドの Gsuite を活用して、他者の表現情報を共有する中学校国語科の授業「好きなこと、好きなジャンルで、好きなように書く」（高井太郎教諭）が公開された。さらに同セミナーの研究報告では、小学校「ICT の視点からの授業改善」（冬野恒史教諭）、中学校「情報活用能力から見る小中連携について」（郡司直孝教諭）をテーマとして、今年度の小中の ICT 教育の取り組みを報告すると共に、小中の研究担当が共同で制作した「情報活用能力育成のためのカリキュラム表」を提案した。		

また、幼稚園では、5歳児を対象として熊谷光洋を講師にタブレットやソフトの活用したアニメーション作成等を体験する授業を定期的実施した。また、タブレットを活用した表現活動（5歳児が撮影した映像を加工して「妖精の宝」を探すクイズ動画を作り遊ぶ）等を研究等において公開した。

今後の研究プロジェクトの推進計画

図1 小学校6年生のカリキュラム表

図2 中学校3年生のカリキュラム表

・アクティブラーニングやICT教育をテーマに長年研究して附属小・中学校が、平成29年度に、どの教科等のどの単元で、どの資質・能力の育成を目指した授業が行われているのか、取り組みの有無やその濃淡を明らかにし、小・中学校が同じ形式でのカリキュラム表を整備することで「情報活用能力」からの連携を提案するために共同で作成した「情報活用能力育成のためのカリキュラム表」をベースに下記の取り組みを行う。

- ①幼稚園におけるカリキュラム表の作成と小・中におけるカリキュラム表の充実
- ②カリキュラム表に基づいた授業実践事例の開発・検証（検証においては「子どもの発達段階に応じたICTの活用がなされているか、アクティブラーニングの視点で授業改善が図られているか」等から授業分析を行い、附属教員及び学生の教職機能強化を図る）
- ③授業力向上セミナーに加えて、函館校で開催される2018年度北海道教育大学函館学校教育学会（12月開催予定）において、本プロジェクトの成果を発表し、評価を得る。
- ④平成31年3月に3年間の本研究プロジェクトの取り組みの内容と成果をまとめた研究報告書をまとめ、発行し、その成果を広く共有できるようにする。

教育現場や地域で活用可能な成果等

- ・（幼）アクティブラーニングの視点（遊びのプロセス）の中での幼児にとって有効なICT活用を位置づけた表現領域・環境領域の授業指導案
- ・「情報活用能力育成のためのカリキュラム表」

研究成果の公表実績

【著書】

橋本忠和著『元気を創る造形教育の理論と実践（幼児造形・図画工作編）』トール出版，2018年

【学術論文】（投稿中も含む）

橋本忠和，2018「幼稚園における造形活動を軸にしたプログラミング思考育成の可能性についての一考察」『美術教育研究ver.50』大学美術教育学会（掲載決定，3月末刊行）

【学会発表、シンポジウム、セミナー、演奏会、展覧会、競技会、普及啓発イベント等】

- ・「平成29年度中学校研究大会・シンポジウム」北海道教育大学附属函館中学校 2017年6月
- ・「平成29年度 教育研究大会」，北海道教育大学附属函館小学校，2017年7月
- ・「平成29年度 研究大会」，北海道教育大学附属函館幼稚園，2016年10月
- ・「平成29年度北海道教育大学附属函館小学校授業力向上セミナー」，2018年2月

【テキスト、報告書、研修資料等】

- ・「平成29年 シンポジウム資料」北海道教育大学附属函館中学校 2017年6月
- ・「平成29年度教育研究大会要項 指導案集」北海道教育大学附属函館小学校，2017年7月
- ・「平成29年度教育研究大会要項 指導案集」北海道教育大学附属函館小学校，2017年7月

<ul style="list-style-type: none"> ・「平成 29 年授業力向上セミナー資料」北海道教育大学附属函館小・中学校，2018 年 2 月 ・「平成29年度北海道教育大学附属函館幼稚園教育研究紀要」，北海道教育大学附属函館幼稚園，2017年3月 	
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報活用能力育成のためのカリキュラム表」 小学校版及び中学校版 ・授業力向上セミナーの小中の研究報告プレゼン ・平成 29 年度 附属函館幼稚園のタブレット活用の指導案
ダウンロード可能なドキュメント	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報活用能力」育成のためのカリキュラム表（2018.2.16ver）等 http://www.hokkyodai.ac.jp/files/00004300/00004315/20170614123202.pdf
関連URL	<ul style="list-style-type: none"> ・国立大学法人，北海道教育大学附属函館幼稚園 HP http://www.hokkyodai.ac.jp/fuzoku_hak_kind/ ・国立大学法人，北海道教育大学附属函館小学校 HP http://www.hokkyodai.ac.jp/fuzoku_hak_syo/ ・国立大学法人，北海道教育大学附属函館中学校 HP http://www.hokkyodai.ac.jp/fuzoku_hak_chu/
問い合わせ先	<p>氏 名：橋本忠和（北海道教育大学函館校，教授） 電 話：0138-44-4319 E-mail：hashimoto.tadakazu@h.hokkyodai.ac.jp</p>